

問い合わせ先  
第二管区海上保安本部  
海洋情報部海洋調査課長（道順）  
TEL 022-363-0111（内線 321）

平成 15 年 1 2 月 4 日

## 石巻湾付近沿岸測量の実施

第二管区海上保安本部では、平成 16 年 1 月 10 日から 1 月 21 日までの間、及び同年 2 月 20 日から 3 月 1 日までの間、マルチビーム音響測深機等を搭載した本庁所属測量船 天洋（430トン、乗組員：船長大崎俊一以下 24 名）の派遣を受け、最新の海底地形を把握し船舶航行の安全を図ることを目的として沿岸測量を実施します。また、沿岸域の流れを把握するための観測を実施します。この測量成果は、海図 W79「石巻湾」をはじめ、関係海図を最新に維持するための資料として使用されます。

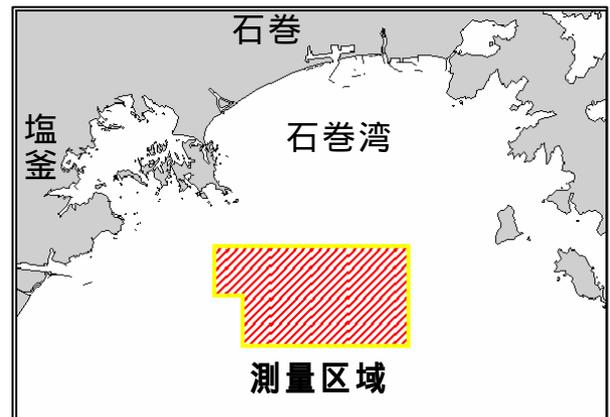
測量船 天洋



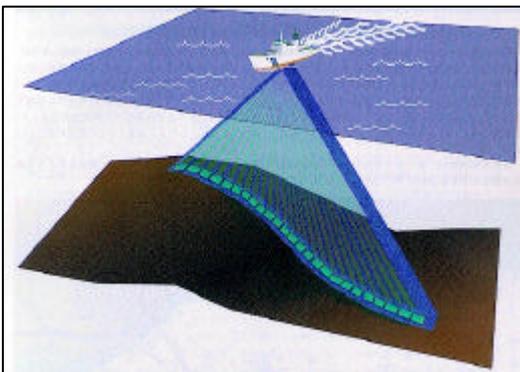
総トン数 430トン

寸法 56.0×9.8×5.0m（全長×幅×深）

測量区域図



マルチビーム音響測深機模式図



### マルチビーム音響測深機

船底から指向性の高い超音波を扇状に発射し、海底からの反射音により面的に水深を測る装置で、水深の最大約 7.5 倍の幅で精密な海底地形を効率的に計測できる。

### その他の搭載観測機器

#### 中深海音響測深機

送受波器から海底に向けて超音波のパルスを送信し、反射されて受信されるまでの時間を計測し、深さを測定する。およそ 3,000m まで測定できる。

#### 超音波流速計（ADCP）

海水中の浮遊物に超音波を当て、反射波の周波数がドップラー効果により変化する現象を利用し、流向、流速を測定する。

#### 投下式水深水温計（XBT）

プローブ（水温センサー）を海中に投下し、エナメル線で接続された船上の計器で水深に応じた水温データを計測する。